



を楽しまないといふ音楽家になれない」となぜ思ったんです。クラブで踊ったり、新しいことを始めたりしているうちにふと歌を口ずさんでいる自分がいた。「このまま私は歌から逃げて辞めていいのか」と自問したら、またもう一人の自分が「絶対いや」と言ったんです。もう一回やろうと決めて丁寧に練習をしたら、声も戻ってきました。その後、初めて出た国際コンクールでスカウトされデビューが決まりました。4年は短いと言われますが、私としては30年くらいに感じました。

**市長** 楽しいことをしているときは、すぐに時間が経ちます。小学校の6年間は皆さん長いでしょ。ところが年を重ねるとあつと一瞬間に5年くらい経つ

**田中** クラシックは格調が高くて…という方もありますが、個人的には高さを下げる必要は全くないと思っています。その場所を保ちつつのよりにすれば皆さんに興味を持ってもらえるかを考えると、皆さんが見る番組で歌うということも大事ななか。

それSDGsの活動と関わっていて、コロナ禍



世界的にも少ない、珍しい声だと分かった。「珍しいんだったら、もうそれにします」と。ちょっとネガティブに聞こえるかもしれないが、音楽をやりたいなら私にはそれしかないという感じで歌の方に行きました。いろいろな出会いや偶然が重なった…これも運命かもしれません。

**新しい環境の歌の本場、ウィーンへ**

**市長** 最初、ウィーンへは研修に行かれたんですか？

**田中** そうです。一週間ちょっと。

**市長** そこで、運命を変える人に会ったわけですか？

**田中** はい。その時にブルガリア人の宮廷歌手の方が私の声を聞いて「本気でプロになりたいんなら、今すぐ私のところにきなさい」と言ってくださって「じゃ行きます」と。今思えば、なかなか難な判断でしたね。

**市長** 親自身が心配で子どもを行かせる決断ができないし、子どもは親の近くにもう少しいたいと思うことが多い中で、単身18歳で外国に行くのはすごい決断ですね。

ている。うらやましい思いをして、いろいろ頭を使って工夫をしている時はものすごく時間が長く感じるものだと思います。だからその4年間は、ものすごく努力された時期なんですよ。

**田中** これぞなんとかがプロで行けるーと思ったのは何歳の時ですか？

**田中** 今でもないです。今自分がこの場にいることがいつも奇跡だと思っています。

**市長** これだけ認められていてもまだ上を目指されているんですね。

**クラシックに触れるきっかけを作る**

**市長** ここ数年は、取材やテレビで、クラシックやオペラの世界を多くの人に知ってもらうおうと活動をされていますね。

**田中** クラシックは格調

**田中** 「ウィーンに留学しようと思う」と両親に言ったら、どんな反応されるかと心配でしたが「そう、ほな行つた」と(笑)。今でも感謝しています。行っている間も「そろそろ帰つてくれ」とか「一度も言われなかつたです」。

**市長** 強い「両親ですね。田中さんは「うせやるならいきなり厳しいところに行つた方がいいと思う」とおっしゃっていますか、なぜですか？その考え方は誰かから教わったんですか？

**田中** 性格もあると思いますが、何かを達成したいと思つたら、やる努力は一緒じゃないですか？どうせ努力するんだつたら、どうせダメなら一番難しいところに行つたらいい、というのが私の考えです。本当はそこに行きたいんだけど、でも怖いからこつちにしておこうというのが、一番精神衛生上よくないと思うんです。気になるんだつたら行つて、ダメだったらそれですっきりしますよね。

**市長** はつきりされていますか？

**田中** 分かっていても実行するのは難しいことです。練習である程度うまくなつたとしても、素質と努力が



ないと世界に誇れるというレベルにまでは行けないと思います。振り返ってみて、一番努力したときはいつですか？

**田中** いちばんつらい時期は最初の4年間です。両親からも4年だけはサポートするけど、その後は自分でなんとかしろと。同級生は大学生活を楽しんでいるのに、自分はウィーンに住んでいるという華やかに聞こえるかもしれないけど、本当に暗い毎日でした。3年目に「まだ何も残せていない、このまま帰つたら4年間が無駄になる」と思うと精神的に追い詰められて高い声が出なくなつたんです。栄養失調で倒れてしまったこともありました。

**市長** それを乗り越えられた原動力は何ですか？

**田中** その時に1か月ほど全く音楽から離れました。それまでは音楽中心の生活で、遊びに誘われても「明日はレッスンだから」と断っていました。「人生

全国どこにでも見に行つて、その人の技のエッセンスを「コピー」しました。

**田中** 私も、ヨーロッパに住みだした頃は外国の人の真似をしていたんですが、真似は本物になれない。おっしゃるようにエッセンスを見つけて、それだけが吸収するよう努力しました。同じですね。

**市長** 田中さんのように世界で活躍する人がいることは、子ども達や舞鶴で生まれ育つた方がこのまちに誇り持つ一つの要因にもなります。この対談で自分の道は自分で切り開き、世のため人のために頑張ること、出会いやきっかけの大切さを市民の皆さんに伝えられたと思います。

**田中** 「こちらこそ、ありがとうございます」